

公害紛争処理関係及び 公害苦情相談員等ブロック会議の開催

公害等調整委員会事務局

公害等調整委員会では、下表のとおり、全国を6ブロックに分けて、「第47回公害紛争処理関係ブロック会議」（都道府県）及び「第41回公害苦情相談員等ブロック会議」（市・特別区）をそれぞれ開催しました。

本年度のブロック会議は、開催道県及び市のご協力を得て、2つのブロック会議を一部合同で開催し、各ブロック内の都道府県と市区が一同に会する場とすることができました。また、公害紛争処理や公害苦情相談に関する事例研究やグループ討議、公害等調整委員会の公害苦情相談アドバイザーによる講演など、ブロック毎に特色ある会議とすることができました。改めまして、開催道県及び市のご担当者のご協力に感謝申し上げます。

本年度のブロック会議について、参加された大津市の小椋さんと那覇市の名嘉山さんの感想を掲載させていただきました。

平成29年度（10月から11月に開催予定）のブロック会議の開催県及び市を、下表のとおり決定させていただきました。開催県及び市のご担当者の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。また、地方自治体で公害苦情相談を担当されている皆様方のブロック会議へのご参加について、ぜひご検討ください。

ブロック名	平成28年度実績				平成29年度予定	
	第47回公害紛争処理関係 ブロック会議 (都道府県)		第41回公害苦情相談員等 ブロック会議 (市・特別区)		第48回公害紛争処理関係・ 第42回公害苦情相談員等 ブロック会議	
	開催道県	日程	開催市	日程	開催県	開催市
北海道・東北	北海道	10/26(水)	札幌市	10/26(水)	岩手県	盛岡市
関東・甲信越静	新潟県	11/8(火)	新潟市	11/8(火)～9(水)	栃木県	宇都宮市
東海・北陸	三重県	10/20(木)	津市	10/20(木)～21(金)	福井県	福井市
近畿	滋賀県	10/28(金)	大津市	10/28(金)	奈良県	奈良市
中国・四国	徳島県	11/10(木)	徳島市	11/10(木)～11(金)	鳥取県	鳥取市
九州・沖縄	鹿児島県	11/1(火)	鹿児島市	11/1(火)～2(水)	沖縄県	那覇市

ブロック会議に参加して

滋賀県大津市環境部環政策境課主幹

小椋 容子



平成 28 年 10 月 28 日（金）に、滋賀県大津市にて「第 41 回公害苦情相談員等ブロック会議（近畿ブロック）」が開催されました。大津市は、日本最大の湖「琵琶湖」の南西に広がる滋賀県の県庁所在地で、比良の山並みや白砂青松の湖畔に代表される自然の魅力と、比叡山延暦寺や石山寺に代表される豊かな歴史と文化に彩られた恵み豊かな都市です。一方、鉄道や高速道路等の交通の要衝でもあり、京都や大阪といった大都市へも通勤可能であることから現在も人口が増加しており、宅地の開発も進んでいます。近年では、農地での野焼き等に対する新興住宅地からの苦情や、法令等で規制できない近隣間の騒音や悪臭の苦情が増加する傾向にあり、対応に苦慮しているところです。

今回の会議は、公害等調整委員会や滋賀県と相談の上、午前中に滋賀県内の市町及び県環境事務所を対象にした苦情相談員会議、午後には府県の公害紛争処理関係ブロック会議と市の公害苦情相談員ブロック会議を一部合同で開催しました。

午前中の会議では、公害苦情相談アドバイザーの講演と、事前にいただいた県内の苦情事例についての意見交換を行いました。講演では、アドバイザーの現場での長年の経験に基づき、具体的な事例と対応についてわかりやすくお話いただきました。特に騒音・振動の苦情対応のポイントとして初期対応は非常に重要であること、相手の話を傾聴し、何に困っているのか、何を求めているのかをきちんと把握することの重要性を再認識することができました。同じ県内で同じように苦情対応に当たっている自治体の職員ですが、担当者同士が顔を見て話ができる場はほとんどないため、貴重な機会となったのではないかと思います。これを機に県内で連携を深めていければと

思います。

午後からは公害等調整委員会から裁定事件の事例や公害紛争処理制度の紹介があった後、A B二つの分科会に分かれ、事例紹介と意見交換を行いました。私が参加したのは、主に騒音・振動に係る事例を対象とした分科会でした。その中のカラオケや保育所等からの園児の声による騒音の苦情は本市でも相談のある案件ですが、法や条例での規制が困難であり、対応に苦慮しています。今回の会議の中で、他の自治体でも同じように困っている案件であることがわかると同時に具体的な対処法等をアドバイスしていただき、大いに参考となりました。

今回の会議ではA B分科会あわせて 29 件もの提案事例、意見交換の議題が寄せられ、各自治体の皆様が日頃対応に苦慮していらっしゃるということも非常によくわかりました。当日は時間の都合上、各テーマで掘り下げた議論を行うことができなかったことが反省点です。

最後になりましたが、本会議を開催するに当たり、公害等調整委員会事務局の方々をはじめ、公害苦情相談アドバイザー、ご参加いただきました各自治体担当者の皆様、会場をご準備いただいた滋賀県環境政策課の皆様には大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

沖縄県那覇市環境部環境保全課主任主事

名嘉山 良典



「第 41 回公害苦情相談員等九州ブロック会議」が、平成 28 年 11 月 1 日（火）、2 日（水）の 2 日間にわたり、鹿児島市で開催されました。

1 日目の前半は、「公害紛争処理関係ブロック会議」との合同会議となっており、公害等調整委員会から裁定事件事例の紹介、九州ブロック各県から公害紛争事件の処理状況等の報告があり、その後、公害苦情相談アドバイザーによる講演が行われました。公害等調整委員会や参加各県からの事例紹介では、職権調査を実施した事例を含めどのような裁定が行われたかなどについて理解を深めることができました。また、

アドバイザー講演では、「苦情処理は自らの説明力を高め、行政スキルの研鑽を積み、チームで対応すること」など、長年の経験に基づく貴重なアドバイスがあり大変参考になりました。

1日目の後半は、苦情処理に関するグループ討議及び公害苦情処理事例紹介が行われました。グループ討議は参加者を6名程度にグループ分けし、各グループごとに事前に提案のあった事例の中から3事例について討議を行いました。

2日目は、1日目に引き続き苦情処理に関するグループ討議を行い、グループでの意見をまとめた後、発表を行い、アドバイザーから発表に対するコメントや総評が行われました。二日間にわたるグループ討議では、各県の担当者がオブザーバーとして参加し、各自治体担当者と活発な意見交換が行われ、非常に有意義な時間でした。

私は公害苦情相談員として、さまざまな苦情相談を受けてきましたが、その大部分は法令で規制できない苦情相談でした。発生源者へは法令に基づく指導はできませんが、相談者は被害を訴え続け何度も同じ苦情を寄せてきます。このような苦情相談に対して他の自治体はどのように対応しているのか、参考にさせていただきたいと思いブロック会議に参加しました。グループ討議の中では、「規制のない事例に対しては、忍耐強く発生源者と相談者の溝を埋める役割を行政が担う」。またアドバイザーからは、「本当に法的に問題がないか、必要な調査や情報収集は行っているか等現状を把握した後で苦情者が求めている要望の程度と発生源者が対応可能な対策の程度について摺合せを行い、その上で丁寧な説明を行い納得してもらう。できないことの説明の後に無料法律相談制度や県公害審査会制度の代替策を提供する」など苦情者に寄り添って対応することなどの的確なアドバイスがあり、今回の会議を参考に苦情処理を行っていきたいと思いました。

平成29年度の九州ブロック会議は那覇市で開催されます。那覇市は都市化が進んでいますが、琉球王朝時代の史跡や伝統も残されています。2000年に世界遺産として登録された「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の9つの構成資産のうち4カ所が那覇にあり、また、那覇の三大祭りのひとつ琉球王朝祭り首里等、琉球王朝時代の伝統文化や伝統芸能を堪能できる祭りも開催されています。

今回の会議も公害等調整委員会事務局との連携を図りながら、例年に劣らず有意義なものとなるよう、開催地として努めたいと思いますので、ぜひ那覇市へお越しくください。